

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

【日 時】令和5年7月20日（木）14時00分～16時30分

【場 所】糸島市役所 11・12号会議室

【出席者】（委員）久場委員、坂本委員、朝田委員、井上委員、古藤委員、蕭委員、調委員、高橋委員、仲西委員、中橋委員、平野委員、松藤委員、宮澤委員、吉岡委員

（事務局）小金丸担当部長、進藤課長、楠原課長補佐、矢野係長、塔野主幹、木下（関係課）公共施設管理課、危機管理課、コミュニティ推進課、下水道課、農業振興課、水産林務課

1. 開会

- ・審議会委員の出席状況報告（委員総数14名中14名出席）、本審議会成立報告
- ・4月人事異動等に伴う新委員の紹介（2名）
- ・市の出席者報告
- ・本審議会の公開について→傍聴可とし公開とする。（傍聴者0名）
- ・本審議会の議事録は後日ホームページにて公開する。

2. 生活環境部担当部長あいさつ

- ・今回の審議会では、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「第2次糸島市環境基本計画」の令和4年度の進捗状況評価をご審議いただく。
- ・令和4年度の取り組みについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりには実施できなかったものがあるが、今年5月に5類へ引き下げとなって以降は、コロナ以前のような活動ができるようになってきている。
- ・令和5年度以降についても、環境に関する施策を総合的に推進していくので、忌憚のないご意見をいただきたい。

3. 会長あいさつ

- ・今回は第2次糸島市環境基本計画の進捗状況についてご審議いただく。
- ・この計画は大きく4つの目標があり、その下に27の計画指標の事業がある。
- ・本日は、この事業の一つ一つの進捗について、ご審議をお願いしたい。

4. 協議事項

（1）評価の方法について

【事務局】

- ・各委員から事前にいただいた意見で、達成率および標語の決定方法について指摘をいただいている。
- ・指摘を踏まえ、事務局で検討した結果、評価方法の見直しが必要であると考えます。
- ・目標ごとの所管課がそれぞれ立てている計画や市の長期総合計画との調整も必要となってくるため、次回の審議会までに整理し、新たな評価方法を提案させていただきたい。

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

- ・今回は取り組みの内容と今後の方針等についてご意見、ご質問をいただき、達成率および標語については次回決定させていただくことで進めたい。→ 委員了承

(2) 令和4年度第2次糸島市環境基本計画の進捗状況について

【事務局】

令和4年度の取組内容および今後の取り組み・方針等について、事務局より説明を行う。

※詳細は資料1のとおり

【所管課】

委員から事前に出された質問に対し、所管課より回答を行う。

※詳細は資料2のとおり

<質疑>

●1-1 再生可能エネルギーの普及促進

【委員】1-1の再生可能エネルギーの普及推進のところ、住宅用太陽光発電の85件に対して、家庭用燃料電池が0件、そのあと重点対策加速化事業で5件と出てくるが、結果的に燃料電池が全然入っていないということか。

【事務局】家庭用燃料電池は、エネファームというガスでお湯を沸かしながら発電もする設備で、こちらは0件である。

【委員】広報に掲載されていたが、太陽光発電もやりながら蓄電池の件数も増やしていきたいという目標がある。全国でも蓄電池は結構普及しているが、外国製の蓄電池が使われている。蓄電池の技術は、日本は非常にレベルが高いと思うのだが、その辺をどう考えているのか。国産のものでやっていきたいのか、それとも外国製を使っていくのか。

【事務局】家庭用燃料電池と蓄電池は別のものである。市では、環境省交付金事業で蓄電池に補助を出しているが、交付要件に合致する蓄電池であれば基本的にどの蓄電池でもよく、国産、外国産というくくりはない。また、環境省交付金事業では、蓄電池の価格を下げていく狙いもあり、価格要件が厳しく設定されている。適合する蓄電池ということになると、どこ産かということまで求めるのは現実には難しい。現状としては、国の交付金を活用しているので、そこまで市として制限をかけることは考えていない。

【委員】今のところベターなのは外国製だから、そちらに流れていく可能性が高いということか。

【事務局】結果的にそうなる可能性はある。

【委員】非常に残念だと思う。できれば国産のものでと思う。これは一つ提案なのだが、糸島市としてはそういうものを進めていったらどうかと思うが、どうか。

【事務局】即答できかねる。

【委員】そのぐらいの気概を持ってやっていただきたいと私は思っている。

●1-1-2 公共施設へのクリーンエネルギー及び省エネ設備導入施設数

●1-2-1 新規防犯灯のLED導入基数

【委員】進捗率33%とされているが、今の回答だと9,623基LED化済とのこと。これは市

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

内全部でということか。

【危機管理課】市内全部で9,623基となっている。

【委員】それが全部LEDに変わっているという解釈でよいか。

【危機管理課】よい。

【委員】それであれば進捗率33%はおかしい。100%でよくないか。

【事務局】こちらは新規導入数を目標としたうえでの進捗率になっており、計画期間の令和7年度の目標に対して現在どの程度のパーセント達成しているかというものである。令和7年度までに550基設置していく目標で、新規が182基という内容である。

【委員】これは誤解を招かないか。全く意味が分からなかった。何%とかの数字を出すときには、わかるようにきちんとした数字を出していただきたい。もう少し丁寧に書いていただきたい。

【委員】今の説明で市内全部の防犯灯と説明があったが、市が設置した防犯灯と地域が設置した防犯灯があると思う市が設置した分についてこの数字だと説明いただかないと誤解を招くと思う。

【危機管理課】おっしゃる意味は理解した。見る方がわかるように、既存も含めて全てLED化しているという旨を書いていたほうが良いと思う。R4年度の取り組み内容のところに「市が設置した新規、寄付付きの防犯灯はすべて以下のとおりになりました」といった内容を書けばより分かりやすいのではないかと思います。

【委員】これに関し、目標値の設定の考え方について伺いたい。現状、全市で9,600ぐらいあるということだが、プラス550基というのが最終的に全市で必要とされている防犯灯の総数だと理解する。そもそも550基というのはどういう基準で設定されたのか。

【危機管理課】各行政区長から挙げられる防犯上必要な箇所への新設の要望ということで、毎年110基ぐらいがあるという見込みで、令和7年度までに合計550基という設定をした。

【委員】行政区からの要望を予測して110基ということだが、過去の実例としては実際どうだったのかがあれば、数値が変わってくるのではないかと思います。現在の目標はあくまでも市がこれだけ出てくるであろうと考えているもの。しかし、行政区から実際に出なかったとなった場合、達成率は大きく変わるのではないかと。

【危機管理課】そのとおりであるが、昨年度の数字で言うと、新規設置と寄附によるものを合わせたところで、行政区から要望いただき設置したものが57基、住宅開発などにより設置したものが29基、合計で86基となっている。令和3年度は、76基を行政区から要望いただいている。一定程度市内では防犯灯がついているので、行政区からの要望は若干減っている傾向ではあるが、要望は毎年出されている。

●1-2-4 バス利用者数

【委員】オンデマンドバスの運行が始まったということだが、バスがあっという間便利そうだが、非常に不便なところもあり、バスの運行時間帯がまばらになっていると感じている。オンデマンドは非常に期待しているのだが、開始してそろそろ効果などを出せるような状況になっているのか。もう少し時間が必要か。

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

【コミュニティ推進課】オンデマンドバスの効果だが、本格運行したのが令和3年10月からである。令和3年3月から実証運行はしているが、そこを含めてもやっと2年が経過したところである。利用者からは、オンデマンドの特徴ではある住宅地内にバス停があることで距離が近いこと、バス停を降りたらすぐ目の前がスーパーという状況であるため、便利になったという声をいただいている。しかし、実際に運行する中で、予約が重複して希望時間に予約が取りにくいといった課題もあり、運行事業者で改善していただいている。今後も改善、見直しを行いながら、エリア拡大についても引き続き検討していく。

【 会 長 】うまくいっている市町村の調査はしているか。

【コミュニティ推進課】市で行っている、「チョイソコよかまちみらい号」はアイシンのシステムを利用しているが、40自治体以上が取り組んでいる。実際に話をきいたところ、糸島市は比較的順調に利用者が増えており、むしろいい方であるとのこと。市としては、ありがたいことに今のところ順調にいとっていると考えている。

【 会 長 】宗像市が積極的に実施されていると聞いた。そのあたりを参考にされてはいかがか。

【コミュニティ推進課】宗像市は「のるーと」といい、西鉄と一緒に実施されている。本市のシステムと少し違っているが、そちらとも情報交換をさせてもらいながらブラッシュアップしている。

●2-1-2 広葉樹の森の整備面積

【 委 員 】「竹転」という専門用語について、一般の方も見られるので、資料のどこかに注釈を設けるなど、解説を加えるほうが良いと思う。

【水産林務課】承知した。

●2-1-3 河川の平均BOD値

【 会 長 】BODについてお尋ねする。基準年の令和元年が0.94、今年度は1.55で2は下回っているが、令和3年度の実績はどうか。

【 委 員 】令和3年度の実績は2.23である。なぜこんなに変わったのか。

【事 務 局】水質検査は、取水時期によってばらつきが出ることもある。そのため、長期間かけて毎年モニタリングしている。令和3年度が2.23となった原因は不明だが、長期間観察している中ではおおむね目標の2以下に近い数値である。

【 会 長 】A類型は一般的に河川の上流のきれいな所に設定する数値なので、下流側まで全て計ってBODに入れられると厳しい数字ではないか。今後検討してみてはどうか。あともう一点、河川しか入っていないが、湖沼、海域については見なくても大丈夫なのか。

【事 務 局】目標としては河川のBOD値にしているが、水路やため池などの水質もモニタリングしている。

【 会 長 】水質の指標が河川のBODしかないのは寂しい感じを受けるので、もう少し広くとらえてもよいのではないか。

【事 務 局】ため池等については環境省から環境基準として示された数値がないので目標設定

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

するのは難しい。水質検査の結果は、市の環境報告書に掲載している。また、ホームページでも公開している。指標の進捗管理としては設定していない。

【 会 長 】 了解した。

●2-1-4 中山間地等直接支払事業取組集落数

【 委 員 】 中山間地域等直接支払いの取り組み実績が、19集落であると説明されたが、対象地域になっているが取り組めていない地区の有無を教えてください。また、耕作放棄地については、農業委員会の農地パトロール等、農業委員の職務にもそのような業務が入っていると思うので、その部分も触れられた方がいいと思う。

【農業振興課】 中山間地域直接支払事業の対象地域に入っているが、活動されてない集落があるかという質問だが、活動されてない集落もある。耕作放棄地については、主に農業委員会で対策をしているが、農業振興課でやっている中山間地域は耕作放棄地などの完全に荒れた農地ではなく、手を加えたら回復ができる荒廃農地の修復等が中心である。農業委員会の対策とは連動していない。

【 委 員 】 19集落を目標としているが、対象区域が全地域なら全数を、もう少し増える可能性があるなら、目標数値をもう少し上げるべきではないかと思う。

【農業振興課】 令和6年度から第5期の中山間地域の取り組みを開始する。この次の取り組みの中でまた新たに取り組みをしたい地域の調査も行いたい。もし参加したいという集落があれば、当然こちらの計画の取り組み集落の数字も変更していく必要があると思っている。

【 委 員 】 全数は19ではなく、30または50あるのかなど、担当課で把握しているのか。全数は無理だろうということで、その8、9割を目標としているというか。全数となると対象集落はいくつあるのか。

【農業振興課】 全数は数字を持ち合わせていない。志摩地区は全ての集落が対象であるが、3集落しか取り組んでいない。対象となればかなりの数がある。

【 委 員 】 承知した。

【 委 員 】 耕作放棄地を活性化していくことは、新規就農者の支援ということと両輪になると考えるが、そのような取り組みとの連携はどのようになっているか。

【農業振興課】 中山間地域直接支払事業は耕作放棄地再生ではない。耕作放棄地を再生して新規就農者へ、といった取り組みとは連動していない。

●2-2-2 森林の間伐面積

【水産林務課】 「水産保全基金運営事業は具体的には、水源の森基金事業とは別なのか。」という質問に対する回答が漏れていた。森林組合などの事業体が私有地へ民有地の森林整備を行う際に、国や県の補助金を申請され、それを活用して森林整備を行っているが、そこに市が独自で水源保全基金を活用し、上乘せ補助を実施している。水源の森基金事業は、福岡県森林組合連合会の事業であり、別事業である。

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

●2-3-1 環境情報サイト等に生物多様性に関する情報掲載数

【委員】生物多様性に関する情報掲載数の目標3件に対して9件達成となっている。何を基準に目標としているのか。妥当な目標なのか。

【事務局】特定外来生物の掲載については、流動的な部分がある。昨年、県内でツマアカスズメバチが発見されたことで、その啓発等、予定していなかったところが増え、実績9件だった。目標のハードルが低すぎるという指摘と思う。昨年の審議会でも、何回掲載するかより、何人に見てもらえているか、アクセス数などを目標にすべきではないかという意見もいただいた。現計画は令和7年度までの上半期の計画であるため、途中で目標を変えるのか、もしくは後期に目標を設定し直すかを検討したい。

●2-3-2 市単独自然観察会開催の有無

【委員】自然観察会については、開催の有無だけを指標とすることに疑問がある。これまでの年間開催実績などの回数を踏まえ、具体的な回数設定ができないのか。なにか具体的な回数の設定ができない事情があれば教えてほしい。

【事務局】過去の実績では、コロナ禍以前は年間1回開催していた状況である。自然観察会に関しては、継続して取り組んでいくということで、開催有無を目標設定している状況である。

●3-1-1 環境美化活動への参加者数

【委員】取り組み方針の三つ目だが、これは二級河川も含めて相談していいのか。

【事務局】一度相談いただきたいが、これに関しては、農業用水路や一般的に行政区が管理している水路、道路側溝が中心で、最近は住民の高齢化で対応できないという意見を多くいただくので、記載している。

【委員】市の公共用地や市道の草刈りを環境美化で実施した際の保険の問題はどうか。

【事務局】年間行事ということで行政区から届け出を提出してもらっている。環境美化中のケガや事故については、市の保険の対象になる。ただ、作業中にコーンを置くなどの安全対策はしっかり行ってもらう必要がある。

【委員】審議案件ではないが、可也校区の初川の中州にあるツツジの保全を長い間やってきた。しかし、ボランティアも高齢になり、危険であることから昨年でやめた。市（コミュニティ推進課）にもお願いしたが対応してもらえなかった。市民まつり会場付近の景観保全ということでまつりのボランティア等で対応できないかコミュニティ推進課にお願いしたい。

【事務局】本審議会でそのような話があったことを伝えておく。

●3-1-4 動物愛護に関する啓発記事の掲載

【委員】「福岡県の糸島保健福祉事務所の職員と連携して広報する」とあるが、動物ではない外来生物でも対応いただけるのか。例えばオオキンケイギクなどが民地などに生えていた時などに何らかの方法で対応いただけるのか。実際に抜いたり、文書で指導したりでき

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

るのか。

【事務局】土地に関して所有者の方に管理を適正に行うように連絡するため、「あき地の管理条例」を制定しているが、外来生物に関しては規定がなく、連絡する根拠がない。市民の方に指導、お願いをする場合、何かしらの根拠が必要になるので整理が必要となる。できる部分とできない部分があるが、広報などでの啓発は今後も継続していく。

●3-1-5 あき地管理に関する指導件数

【委員】相談件数のうち、所有者がわかっていて納税されている割合は何パーセントか。

【事務局】数値は持ち合わせていない。課税状況は地方税法上、絶対に情報開示できない情報である。空き地の管理に関する文書は、通知文書を送った結果、亡くなっていたり、住所不明で返送されてきた場合などは、住民登録を追跡して、最新の住所等が判明すれば、再度通知文書を送る等の対応をしている。ただし、全国的に所有者不明土地が問題になっており、どうしても追跡できず問題解決の手立てがない土地もある。可能な限り所有者を追跡し、文書を送付することとしている。

●3-2-1 野焼きの苦情件数

【委員】野焼きとは直接関係ないが、トラクターからの泥が道に落ちているという苦情も多いので、農協等で対応を検討できないか。

【委員】麦部会の際にチラシを配ったりして啓発は行っている。農区長会などでも文書回覧を行っている。

【委員】文書配布の回数を増やすなどで対応してほしい。

【委員】検討する。

【委員】空き地の管理と話がつながるが、近所の人から刈った後の草を燃やしているといった苦情が入るケースもある。その辺りの相談はどうしたらよいか。

【事務局】草を燃やしているとの通報で、市が現地に指導に行くケースもある。また、現在の空き地の管理に関する文書には刈った後の草の処理について記載していないので、今後検討したい。

●3-2-3 ごみの資源化率

【委員】携帯電話、インクカートリッジ、小型充電式電池と記載されているが、リチウム電池が特に問題になっているので分けて記載しておくといいいのでは。温まると爆発したりする可能性もあり、全国的に問題になっている。

【委員】リサイクルできるものは市で売ったりしているのか。

【事務局】クリーンセンターで回収したものは、ほぼ売却している。一部瓶など売却できないものもあり、費用を支払って業者に引き取りを依頼しているものもある。必ずしもクリーンセンターに出されなくても、身近なところで資源化してもらってよい。

●4-2-1 環境情報サイトの新着情報数

令和5年度 第1回糸島市環境審議会 議事録要旨

【委員】先ほどの水質のところでの話を聞いて感じたが、糸島の水は綺麗であるということも含め、市民へ積極的にアピールしていただきたい。

5. その他

【委員】2023年度のSDGs未来都市に糸島市が選定された。糸島市の取り組みもホームページ等に掲載されているようなので閲覧をお願いしたい。先日、「第12回手をつなぐ糸島市民のつどい」が開催され、SDGsに取り組む団体の紹介もあったので、興味のある方は参考にしてもらいたい。

【事務局】

次回審議会について

開催日程：9月下旬～10月上旬頃

協議事項：進捗状況の評価方法の見直し・地球温暖化対策実行計画の改定

6. 閉会

謝辞等を経て閉会。